

平成24年度

## 学校評価結果（後期）と次年度に向けて



- 1 平成24年度学校評価「保護者・地域アンケート」の集計と分析・考察 ～資料1～
- 2 平成24年度学校評価「児童アンケート」の集計 ～資料2～
- 3 平成24年度学校評価「保護者アンケート」の集計 ～資料3～
- 4 平成24年度学校評価「児童・保護者・教職員アンケート結果の比較」 ～資料4～
- 5 平成24年度学校評価アンケートの分析と考察
- 6 「成果と課題」と「次年度に向けて」

南富良野町立下金山小学校

# 平成24年度学校評価「保護者・地域アンケート」の集計と分析・考察<資料1>

南富良野町立下金山小学校

前期 平成24年 7月実施 回答:保護者7名 地域アンケート実施なし

後期 平成24年12月実施 回答:保護者7名 地域4名

A=よくあてはまる(10点) B=ややあてはまる(7点) C=あまりあてはまらない(4点) D=あてはまらない(0点) E=わからない

【学校経営の方針】								
子ども一人一人にとって成就感・達成感・充実感を得る「楽しい学校」づくり			A	B	C	D	E	達成率
1	学校は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよくはぐくむ指導を行っている。 例:S(すこやか)健やかな体～一輪車・マラソン・なわとび、年2回の体カテスト K(かしこさ)確かな学力～朝学習(読み聞かせ)、家庭学習、外国語活動の巡回指導教員活用 Y(やさしさ)豊かな心～老人クラブとの交流、地域ごみ拾い、「道徳の授業」参観日公開	H24前期	5	2	0	0	0	91.4
		H24後期	7	4	0	0	0	89.1
2	学校は、地域の環境(人材・自然・文化・産業等)を生かした指導を行っている。 例:もち米づくり体験、カヌー体験、カーリング体験、郷土資料室の活用、社会科見学	H24前期	5	1	1	0	0	87.1
		H24後期	9	2	0	0	0	94.5
3	学校は、子どもたちにやりとげる喜びをもたせ、一人一人の自信を高める指導を行っている。 例:運動会・学芸会等で一人一人に目標をもたせふりかえる場を設ける。	H24前期	6	1	0	0	0	95.7
		H24後期	7	4	0	0	0	89.1
保護者や地域住民の「信頼」を得る「安全・安心」のある学校づくり			A	B	C	D	E	達成率
4	学校は、年度の基本方針や重点目標、その具体的な取組や子どもたちの様子について、保護者や地域の方に、わかりやすく伝えている。 例:参観日懇談会での説明、学校だより・学級通信の発行、学校ホームページの更新	H24前期	6	1	0	0	0	95.7
		H24後期	9	2	0	0	0	94.5
5	学校は、よりよい教育環境づくりを旨とし、施設や設備の維持管理を適切に進めている。 例:ランチルームの改修、体育館屋根の補修、グラウンドの除草、除雪	H24前期	5	2	0	0	0	91.4
		H24後期	7	4	0	0	0	89.1
6	学校は、登下校の安全、いじめ防止、健康・食育指導など、子どもが安心して安全な生活を送るための指導をしている。 例:交通安全街頭指導、いじめアンケート調査、食育講話、保健だより、給食だより	H24前期	6	1	0	0	0	95.7
		H24後期	8	3	0	0	0	91.8
7	教職員は、場に応じた言葉遣い・身だしなみを心がけ、PTA活動にもよく参加し、保護者や地域の方に誠意をもって接している。 例:職員の電話対応、服装、PTA行事・地域行事への参加	H24前期	7	0	0	0	0	100.0
		H24後期	9	2	0	0	0	94.5
職員一人一人にとって「見通し」をもち「手ごたえ」を得る学校づくり			A	B	C	D	E	達成率
8	教職員(先生)は、子どもとよく話し、一人一人の様子をとらえ、わかりやすく授業を行っている。 例:休み時間一緒に遊ぶ、年2回の教育相談、参観日等での授業	H24前期	6	1	0	0	0	95.7
		H24後期	8	1	0	0	2	96.7
9	校長をはじめ教職員は、協力して熱心に教育活動に取り組んでいる。 例:毎週の担任会議で児童の情報交流、運動会・学芸会・もちつき集会等での協力体制	H24前期	6	1	0	0	0	95.7
		H24後期	9	2	0	0	0	94.5

## ☆意見等

アンケートに例を載せていただき、理解しやすく、〇が付けやすかったです。

集合学習の機会が増えてよかった。中学校入学のことを考えると、幾寅小児童と接する機会が増えることが好ましい。

## 分析・考察

### 【学校経営の方針】

〇<子ども一人一人にとって成就感・達成感・充実感を得る「楽しい学校」づくり>

- ・前期・後期とも、全ての項目で90ポイント前後の達成率となった。
- ・地域の教育資源を生かした教育活動について、実践の積み上げのもと、改善を加えていきたい。
- ・キャリア教育の充実を図り、子どもたちの自己肯定感を高める取組を一層進めたい。

〇<保護者や地域住民の「信頼」を得る「安全・安心」のある学校づくり>

- ・前期・後期とも、全ての項目で、90ポイント前後の達成率となった。
- ・施設・設備の整備については、教育活動の充実と安全性を考慮し維持管理に一層努める。また、学校統合に向けた校舎の新築にあたっては、教育現場の要望を反映していただけるよう取り組んでいくことも大切であるとする。
- ・一層信頼される学校づくりを進めるにあたり、次年度地域の方に学校関係者評価委員(学校評議員)になっていただき、広くご意見をいただきたい。

〇<職員一人一人にとって「見通し」をもち「手ごたえ」を得る学校づくり>

- ・前期・後期とも、全ての項目で、95ポイント前後の達成率となった。
- ・学校の取組が、保護者・地域の方々に成果の「手ごたえ」と感じられるよう、公表や説明のあり方を一層工夫していきたい。

### 【記述について】

- ・アンケート用紙に、取組の具体例を載せることを今後も継続したい。

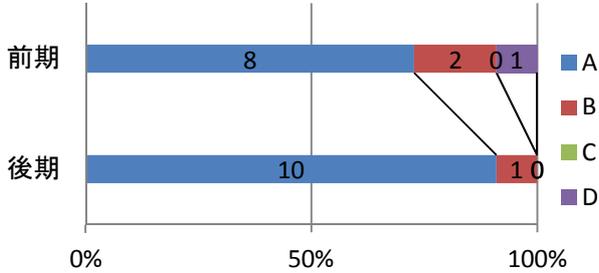
**【年度の重点目標】 一人一人を生かし、自ら高まろうとする子どもの育成**

前期:7月実施 後期:12月実施

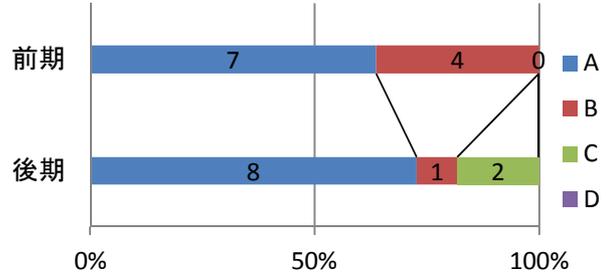
A=よくあてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=あてはまらない

**S すこやか 運動に親しむ子 体をきたえる子 笑顔のあふれる子**

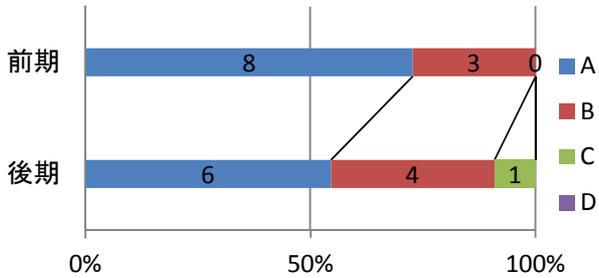
S1 体を動かすことが好きで、進んで外遊びや運動をしている



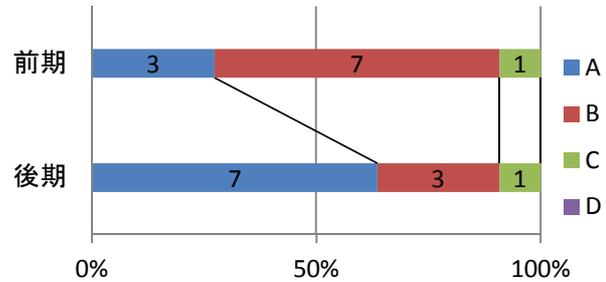
S2 手洗い・うがいや歯みがき(朝・夜)を毎日行っている。



S3 決まった時間に食事をし、偏食をせずに食べている

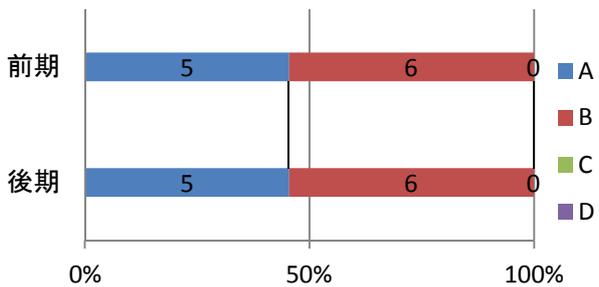


S4 早寝・早起きをして、規則正しく生活している

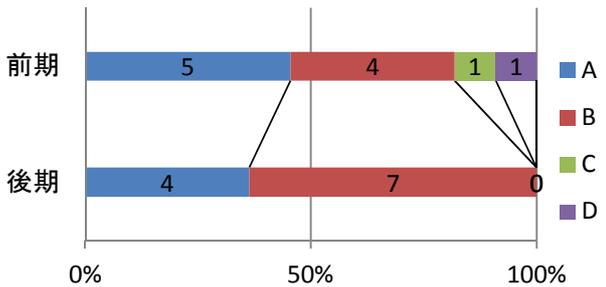


**K かしこさ 進んで学習する子 工夫して学習する子 最後までやりぬく子**

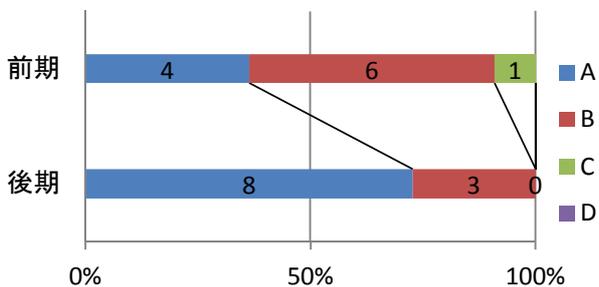
K1 「下金山っ子の家庭学習」6つのポイントを守り、宿題や家庭学習に毎日取り組んでいる



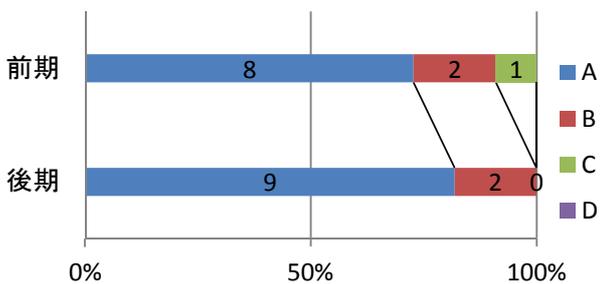
K2 学校や家庭で毎日読書(漫画を除く)をしている



K3 自分の考えをわかりやすく他の人に伝えている

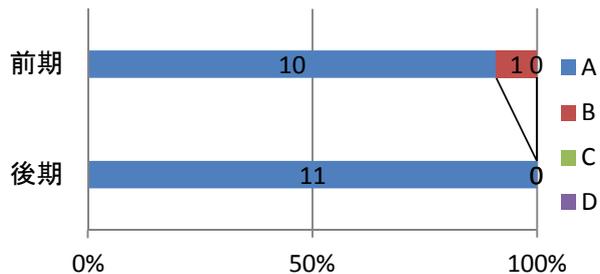


K4 忘れ物をしないよう、学習用具や持ち物の点検をしている

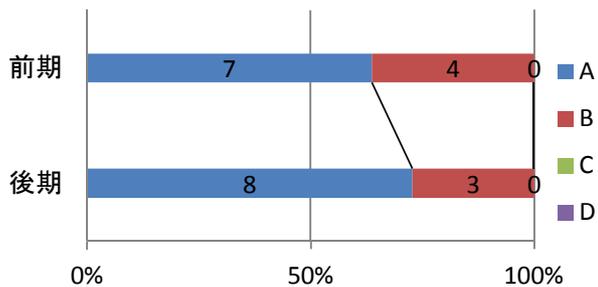


Y やさしさ やさしい子 進んで行う子 たがいに助け合う子

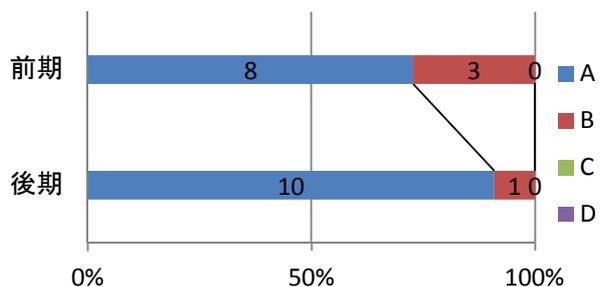
Y 1 進んであいさつしたりお礼を言ったりしている



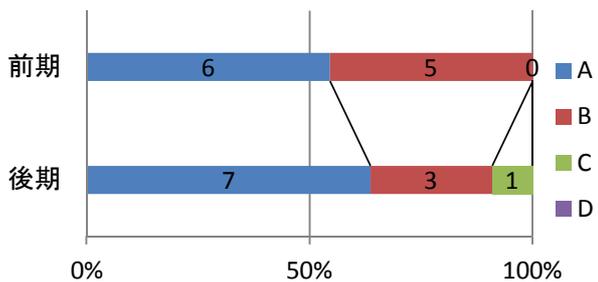
Y 2 友だちのいやがるようなことをせず、なかよく遊んでいる



Y3 困っている人がいたら助けようとする気持ちがある



Y4 家事や仕事の手伝いを進んで行っている



児童の記述

<先生へのお願い>

- ・算数でもっと教えてください。お願いします。
- ・字が曲がっています。

<CやDをつけた理由>

- S2 ・トイレから出ても手を洗わないから。
- S2 ・手洗いはしているがうがいをしていないから
- S3 ・好き嫌いが多と思うから
- S4 ・早起きでなく、遅く起きることが多いから

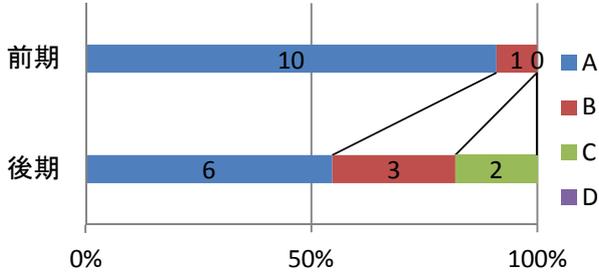
**【年度の重点目標】 一人一人を生かし、自ら高まろうとする子どもの育成**

前期:7月実施 後期:12月実施

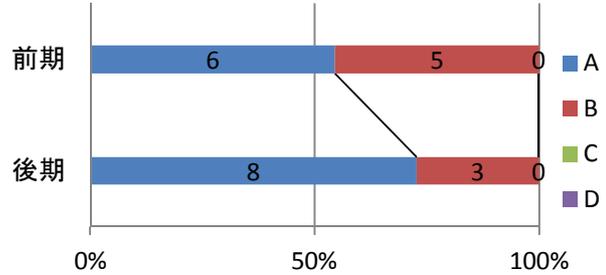
A=よくあてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=あてはまらない

**S すこやか 運動に親しむ子 体をきたえる子 笑顔のあふれる子**

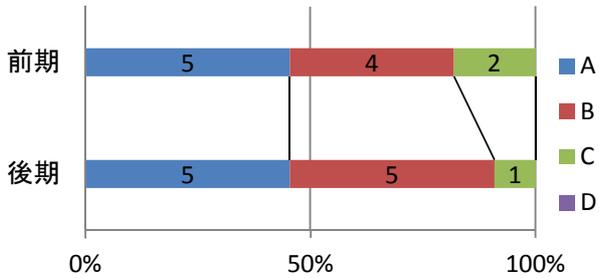
S1 体を動かすことが好きで、進んで外遊びや運動をしている



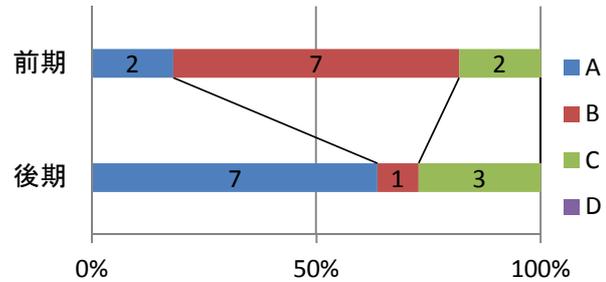
S2 手洗い・うがいや歯みがき(朝・夜)を毎日行っている。



S3 決まった時間に食事をし、偏食をせずに食べている

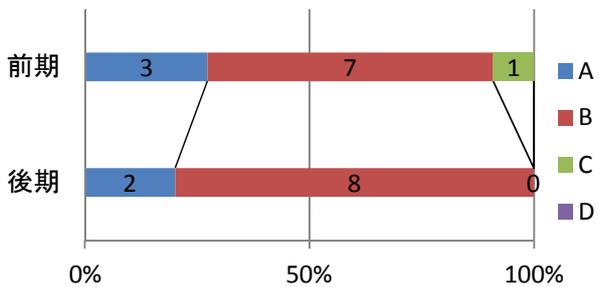


S4 早寝・早起きをして、規則正しく生活している

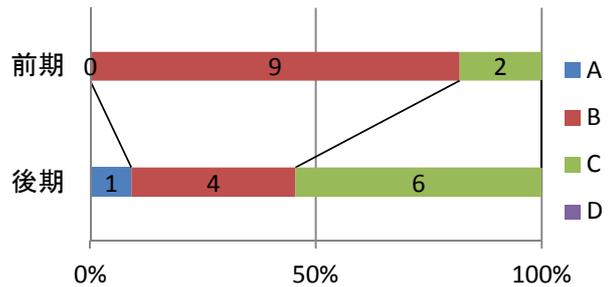


**K かしこさ 進んで学習する子 工夫して学習する子 最後までやりぬく子**

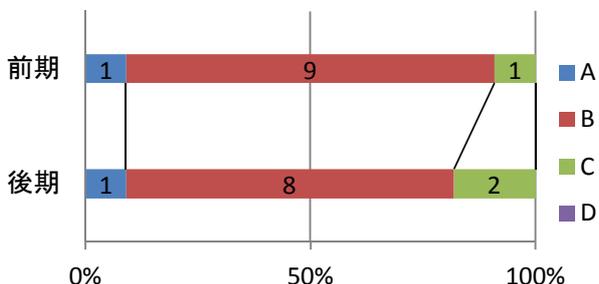
K1 「下金山っ子の家庭学習」6つのポイントを守り、宿題や家庭学習に毎日取り組んでいる



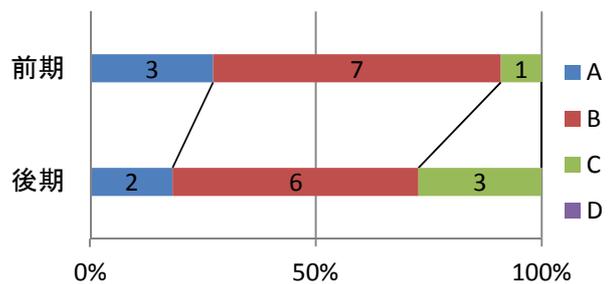
K2 学校や家庭で毎日読書(漫画を除く)をしている



K3 自分の考えをわかりやすく他の人に伝えている

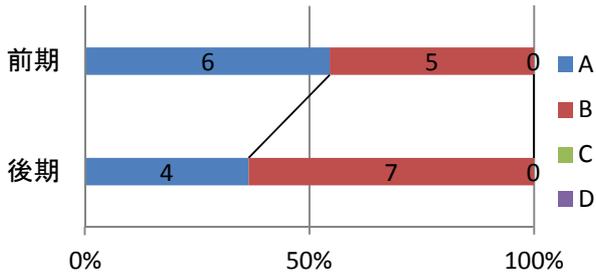


K4 忘れ物をしないよう、学習用具や持ち物の点検をしている

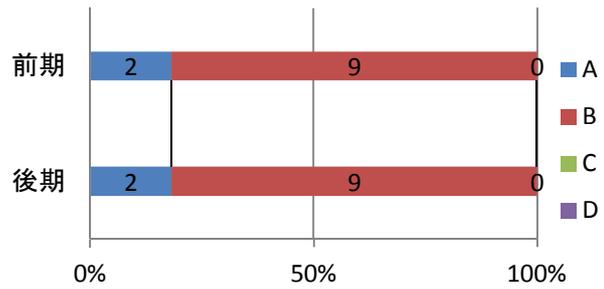


Y やさしさ やさしい子 進んで行う子 たがいに助け合う子

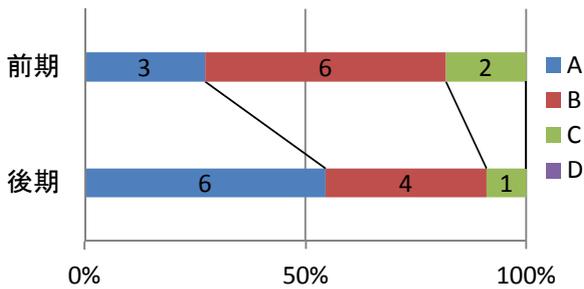
Y 1 進んであいさつをしたり、お礼を言ったりしている



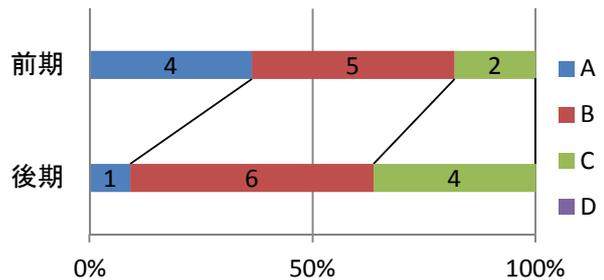
Y 2 友だちのいやがるようなことをせず、なかよく遊んでいる



Y3 困っている友だちがいたら助けようとする気持ちがある



Y4 家事や仕事の手伝いを進んで行っている



保護者の記述

☆評価項目にかかわって、気がついた子どもの姿

- ・読書は好きで、よく読んでいます。
- ・朝は自分から進んで起きてくれるので助かっています。
- ・時々車についた雪の除雪などを自分からやってくれること。
- ・お友達とぶつかり合うことも多々ありましたが、学校が楽しいと言っています。
- ・姉妹でお手伝いを分担したり、弟の遊び相手をよくしてくれます。
- ・忘れ物をしないように準備するけど、ランドセルの横に置いて入れ忘れることも多い。
- ・とてものびのび学校生活を送っていると思います。隠し事もなく素直でよいと思います。
- ・お風呂洗いや弟の面倒をよく見てくれる。どこに行くにも本を持って、時間があれば読んでいます。
- ・体を動かすことは大好きで、手伝いも気が向けば進んでやってくれる。
- ・手洗い、うがいや歯みがきは、毎日言わなくても進んでしています。
- ・最近挨拶は自分から進んで言えるようになった。
- ・あいさつとかはきちんとしていると思います。

☆CやD記入の理由や改善策等

- S4 Y4 ~子ども任せにしてしまっているの、親(私)自身の関わりが必要だと思います。
- K2 ~漫画が多いです。図書室から借りてきて読めるようにしたい。
- Y2 ~母のおなか小さくなったから、すっかりいたわってくれなくなりました。  
でも、下の子の面倒はよくみてくれています。
- K234 Y4~子どもの自主性にまかせっきりなので、親(私)自身の関わりを増やします。
- K4 ~自分が出した物は後片付けをすることがない。早寝早起きはまずできない。
- K2 ~家で本を読むことは少ないです。学校から借りてくると読むようです。漫画は好きです。
- Y34 ~思ったとおりいいかないといらいらしやすく、進んで手伝いはしてくれない。

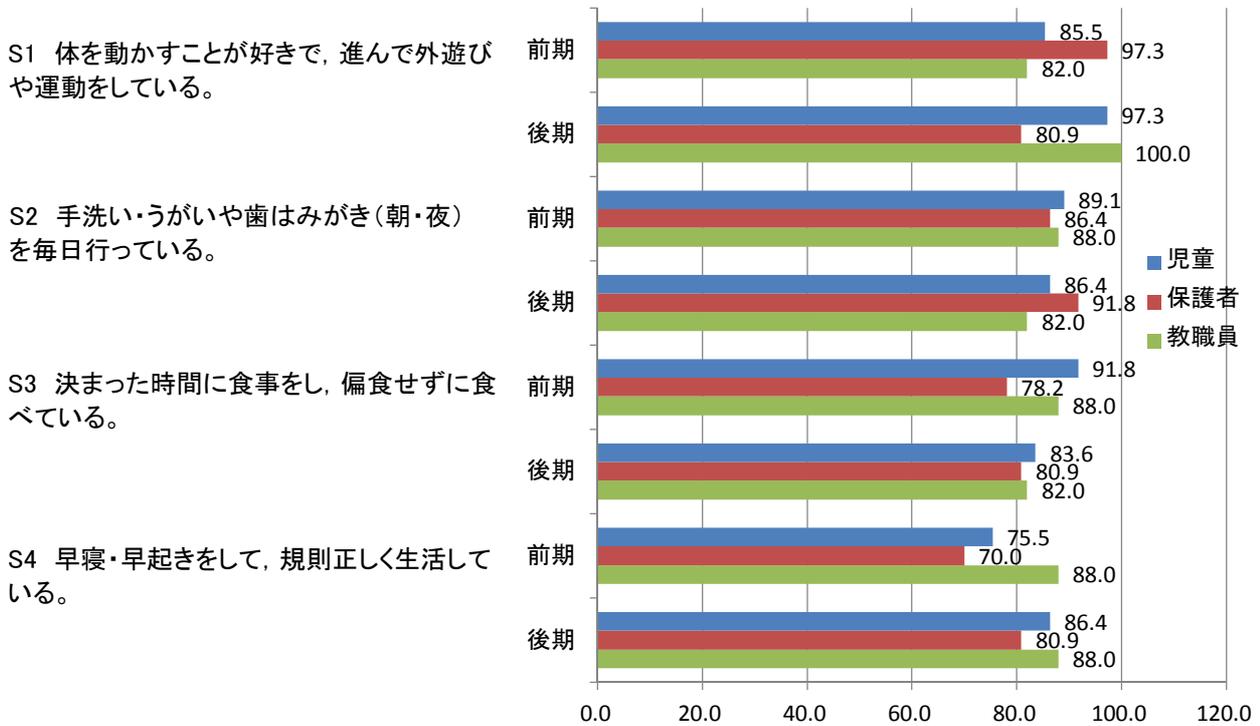
# 平成24年度学校評価「児童・保護者・教職員アンケート」の達成率比較<資料4>

平成24年12月

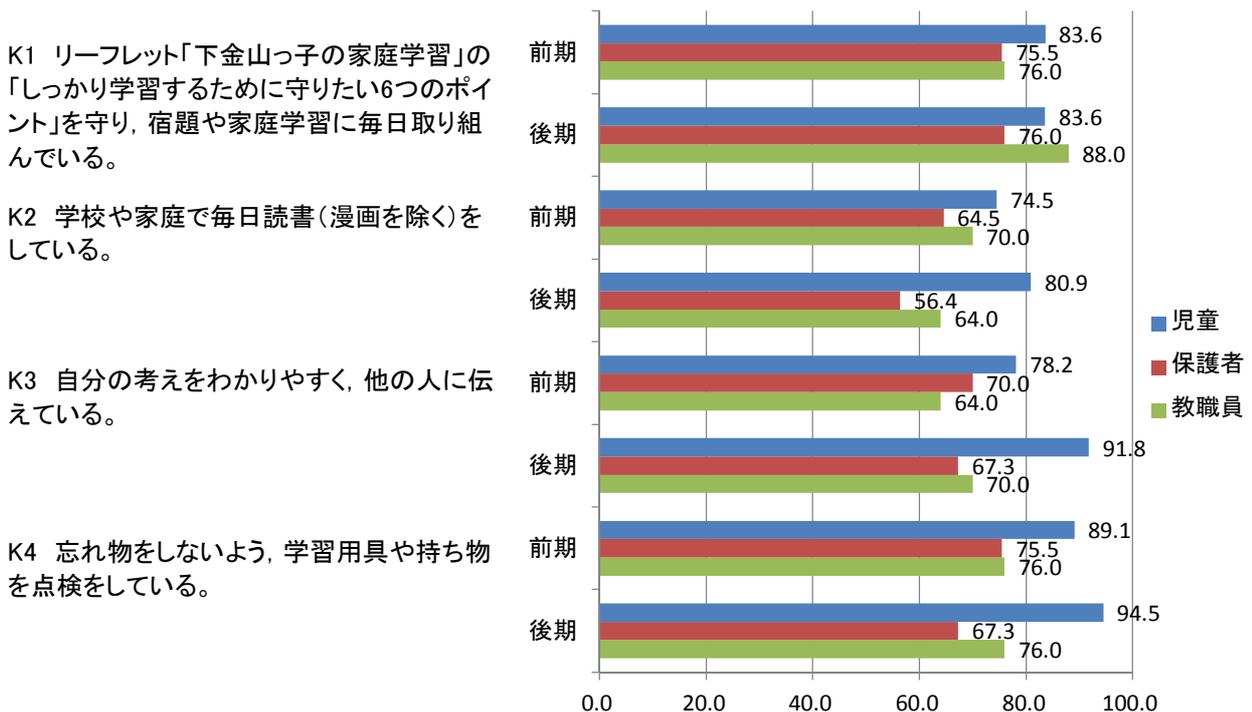
南富良野町立下金山小学校

グラフ中のポイント(達成率)は、児童・保護者・教職員に行ったアンケート結果を、  
 A=よくあてはまる(10点) B=ややあてはまる(7点) C=あまりあてはまらない(4点) D=あてはまらない(0点)  
 として点数化し、全員がAである場合を100として算出したものです。  
 前期:7月実施 後期:12月実施

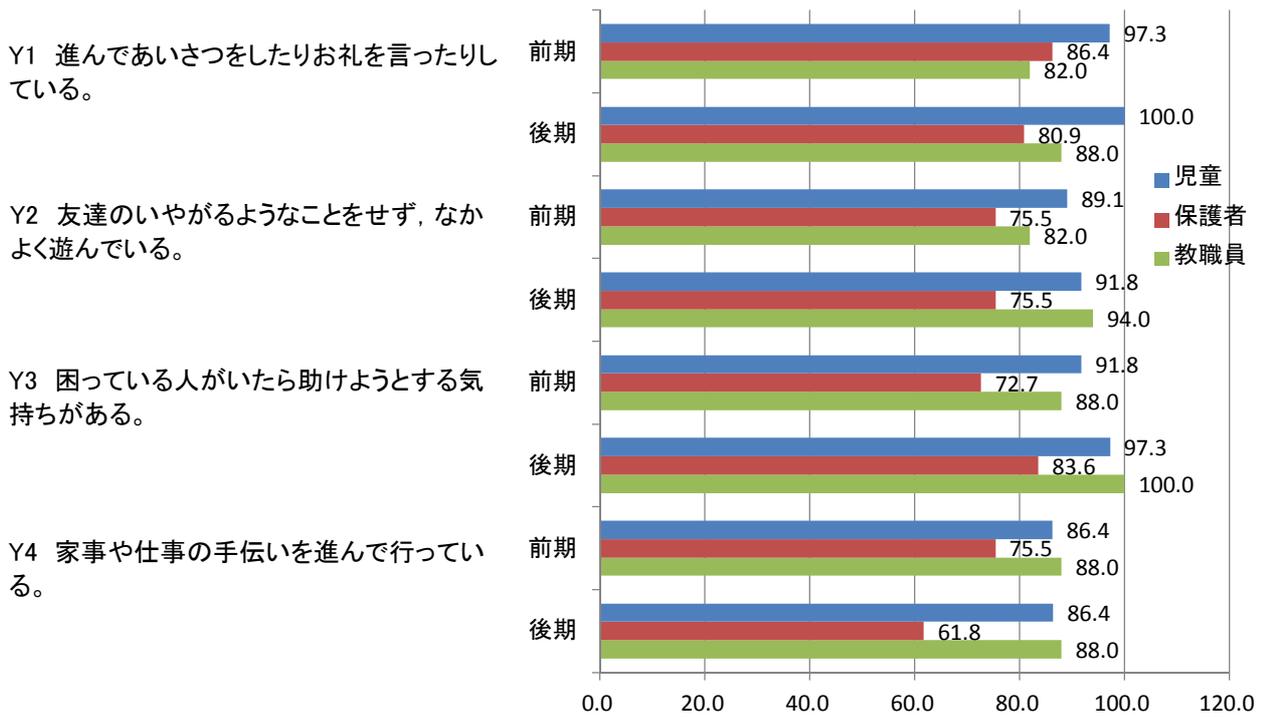
## S すこやか 運動に親しむ子 体をきたえる子 笑顔のあふれる子



## K かしこさ 進んで学習する子 工夫して学習する子 最後までやりぬく子



Y やさしさ やさしい子 進んで行く子 たがいに助け合う子



## 平成 24 年度 学校評価アンケートの分析と考察

平成 25 年 1 月

南富良野町立下金山小学校

### 【すこやか】

80 ポイント以上達成した項目は、前期に 2 項目、後期では全 4 項目。全体として改善され、取組の成果が表れている。

#### ○外遊びや運動

- ・児童・保護者・教職員とも 80 ポイントを越えており、全校的な体力づくりの取組が功を奏しているといえる。
- ・前期と後期の結果を比較すると、児童と教職員は「以前より運動するようになった」、保護者は「運動しなくなった」ととらえていることがわかる。冬期間の外遊びの減少、後期体力づくりの成果公表が不十分であることが考えられる。

#### ○手洗い・うがいや歯みがき

- ・児童・保護者・教職員とも 80 ポイントを越えており、全校的な歯みがき指導の取組が功を奏しているといえる。
- ・前期と後期を比較すると、保護者は約 5 ポイント増加、児童は約 3 ポイント、教職員は約 6 ポイント減少している。夏季休業中の「歯みがきカレンダー」の取組では、歯みがきが 1 日 1 回だけの児童が全体の半数であった。朝・夜の歯みがきの習慣化に課題がある。

#### ○食事の時間、偏食をしないこと

- ・前期と後期を比較すると、保護者は約 2 ポイント増加、児童は約 8 ポイント、教職員は約 6 ポイント減少している。給食時、偏食を改善しようと努力している児童もあり。食育指導の効果といえる。低学年では、時間内に食べ終わることができるようにすることが課題である。

#### ○早寝・早起き、規則正しい生活

- ・前期と後期を比較すると、児童は約 13 ポイント、保護者は約 11 ポイント増加している。学校と保護者が連携した取組の中で、改善が図られているといえる。今後も、児童の生活リズムを定期的に点検する取組は必要である。

### 【かしこさ】

児童の評価は平均上がっている一方、特に忘れものに関しては、保護者や教職員が前期と大きな変化がないところ、児童の評価は上がっている。読書に関しても、ほぼ同様の状況にある。

#### ○宿題や家庭学習

- ・前期と後期を比較すると、保護者 0.5 ポイント、教職員 12 ポイント増加している。担任会議での交流や児童への呼びかけ、懇談会での保護者への説明等の取組が、教職員の達成率上昇につながっていると考えられる。

#### ○学校や家での読書

- ・80 ポイントを超えているのは、後期の児童の回答のみである。「毎日」という部分が、達成率の上がない要因と考えられる。読書習慣の定着が課題である。
- ・前期と後期を比較すると、児童のポイントが増加している。読書に関心をもち、本を手にする機会は多くなっていると考えられる。

#### ○自分の考えを伝えること

- ・前期と後期を比較すると、児童は 13 ポイント増加、教職員 6 ポイント増加。普段の学習や行事を通して伝える力の高まりが見られることや児童が手ごたえを感じていることが、児童・教職員の達成率の上昇につながっていると考えられる。
- ・全体を通じて、保護者・教職員は、80 ポイント以下である。場や状況に応じて、わかりやすく伝える力の育成が課題と考えられる。

#### ○学習用具や持ち物の点検

- ・全体を通じて、保護者・教職員は 80 ポイントに満たない。
- ・前期と後期を比較すると、児童は 5 ポイント増加、保護者 8 ポイント減少、教職員変化なしである。児童の達成率は上がっているのに、忘れ物注意の意識付けは高まってきたと考えられる。保護者の達成率が下がった要因の 1 つとして、農繁期を過ぎたことで目が行き届きやすい環境となったことも考えられる。保護者が子どもの忘れ物を届けることで、子どもに困り感が生じないこともあると思われる。

### 【やさしさ】

すこやか、かしこさに比べて児童の評価が最も高い項目となっている。一方保護者の評価がそれほど高くないことから、学校と家庭での児童の意識に差があることが考えられる。学校は社会的な場として児童が行動している様子がうかがえる。

#### ○あいさつやお礼

- ・児童は後期全員が A 評価としており、教職員の評価も 6 ポイント増加している。青葉会で取組を行った結果、児童に意識づけが行われた成果と考えられる。一方、保護者からの評価は上がっておらず、学校以外では不十分な面があると思われる。礼儀や感謝について、道徳等で引き続き実践的な指導を行う必要がある。

#### ○なかよく遊ぶこと

- ・前期と後期を比較すると、児童 3 ポイント増加、教職員 12 ポイント増加している。教職員の評価が上がっているのは、児童間のトラブルに対して全員で話し合わせて解決策を考えさせ、その後の経過観察をしてきた結果だと考えられる。今後も細かく児童の様子に目を配っていくことが大切である。

#### ○他者を助けようとする気持ち

- ・前期と後期を比較すると、児童 5 ポイント増加、保護者 11 ポイント増加、教職員 12 ポイント増加。三者とも評価が上昇している。学芸会を中心とした行事の取組や青葉会の活動で、互いに助け合う気持ちが育ったと考えられる。一過性のものにならないよう、日常生活の中で思いやりの心を育むとともに、定期的にふり返りの活動が必要である。

#### ○家事や仕事の手伝い

- ・前期と後期を比較すると、児童・教職員の評価はほぼ変化がないのに対し、保護者の評価が 14 ポイント下がっている。これは、農繁期と比べて家での手伝いの機会が減ったことも一因と考えられる。家庭での役割を考えさせ、進んで手伝いを行うことへの意識づけが必要である。

## 「成果と課題」と「次年度に向けて」

### 今年度の取組の成果と課題

※○は成果，●は課題

#### ■学校運営全般

- 様々な教育活動で、子どもたちに、課題解決の「見通し」をもたせるとともに、やりとげる喜びを「手ごたえ」として実感できる場を設けることにより、自尊感情の高まりが見られるようになった。
- 学校の具体的な取組の様子や成長した児童の姿を家庭や地域に伝えるとともに、地域の環境を生かした指導の工夫を行うことを通して、保護者や地域と連携して学校づくりを進めることができた。
- 教職員が一丸となって、協力して教育活動に取り組むことにより、教育効果を高めることができた。
- 小中高連携教育の一層の推進
- 学校関係者評価を生かした学校改善

#### ■すこやか＝「健やかな体」育成のために

- 一輪車、マラソン、なわとび、「どさん子元気アップチャレンジ」参加など、一年間を通して、全校的な体力づくりの取組を進め、春秋2回の体力テストの結果から個々の体力の伸びを確認することができた。
- 歯みがき指導、歯みがきカレンダーの取組を通して、歯みがきの習慣化が図られるようになってきている。
- 毎月の食育講話、給食だよりの発行、栄養士の来校等を通して、食事と健康、食文化等への関心を高めることができた。
- 冬の体力づくりの工夫
- 歯みがきの一層の習慣化
- 生活習慣の定期的な点検

#### ■かしこさ＝「確かな学力」育成のために

- 家庭学習の呼びかけ、懇談会での保護者への説明等の取組により、家庭での学習習慣の定着が図られた。
- 地域・保護者と連携した読み聞かせ会の定例化により、読書活動への意欲付けを図ることができた。
- 自分の考えを説明したり、思いを伝え合ったりする表現活動の場面を多く設定することで、表現することへの意欲化を図ることができた。
- 家庭での読書習慣の定着
- 場や状況に応じて、わかりやすく表現すること
- 忘れ物を減らす指導の工夫（児童に問題意識をもたせる指導）

#### ■やさしさ＝「豊かな心」育成のために

- 青葉会によるあいさつ運動の取組や、声かけにより、あいさつやお礼について、児童の意識付けを図ることができた。
- 教育相談や日常的な児童とのふれあいにより、個々の思いや願いをくみ取った指導を行うことができた。
- 児童間のトラブルについて児童に話し合わせたり、解決策を考えさせたりすることを通して、他者とのかわり方の指導を充実することができた。
- 学芸会・もちつき集会等の行事や青葉会の取組により、思いやりや助け合いの心をはぐくむ指導を進めることができた。
- 学校の生活目標を意識した取組
- 家庭でのお手伝いの意欲付け

## 次年度に向けて

### ■学校運営全般

- 南富良野町小中高連携教育の基本理念に基づき「自立して社会で生きていく力を実感し、共に生きるため、学ぶことに真面目な子ども」を目指し、近隣校や異校種（中学校・高等学校）と連携した取組を進めます。
- 学校評議員を設置し、広く地域の方々の意見も汲み取り、学校改善に生かしていきます。  
(学校関係者評価の充実)
- 校内のごみの回収・除草・除雪の徹底、資料室の整備等を通して、「安全で快い緊張感のある」環境づくりを進めます。
- 養護学校教諭(パートナーティチャー)、協会病院、町保健福祉課と連携して、児童の困り感に対応した特別支援教育を全校体制で進めていきます。

### ■すこやか＝「健やかな体」育成のために

- 「健やかな体」育成プラン（Sプラン）を作成し、全校的な体力づくりの取組を、1年間通して計画的に実施し、運動能力の向上を図るとともに、運動に親しむ態度をはぐくみます。特に、運動不足になりやすい冬期間の体力づくりを工夫します。
- 年間を通して、体育の授業にストレッチ運動を取り入れ、本校の子どもたちの体力面の課題である柔軟性を高めていきます。
- 期間を決めて生活リズムチェックを行い、児童の生活習慣の実態を捉えるとともに、児童が自らの生活をふりかえる場を設けていきます。
- 全校歯みがき指導を春と秋に行い、重点的に指導するとともに、休業中もしっかり歯みがきを行えるよう、家庭の協力を得た継続指導を進めます。
- 毎月の食育ミニ講話に加え、栄養士による指導の機会も数回設け、児童の食育への関心を高めていきます。また、家庭と連携して、食べ方や食のマナーの指導も行っていきます。

### ■かしこさ＝「確かな学力」育成のために

- 「確かな学力」育成プラン（Kプラン）を見直して、重点的に取り組む指導事項を明確にし、「オール北海道で目指す目標」の達成に向け、指導を工夫していきます。
- 一人一人の学習状況をとらえ個別の指導目標を設定し、個に応じた指導を重視することにより、確実に基礎基本の定着を図っていきます。
- 本校児童の課題である「場や状況に応じてわかりやすく伝えること」について、学年の発達段階に応じて見直しをもった指導ができるよう、職員研修を通して指導力の向上を図ります。
- 地域・保護者の方々の図書ボランティアによる読み語り活動を充実するとともに、学校図書持ち帰りの呼びかけ、読書意欲を高める家庭学習課題の工夫等を通して、家庭での読書習慣を身に付けさせる取組を進めます。
- 「上川版キャリアノート（マイノート）」を活用して教科の学習や学校行事の取組をふりかえる場を設けるなど、キャリア教育にかかわる指導を充実させ、短所を改め長所を伸ばそうとする態度や、見直しをもって課題を解決する力をはぐくんでいきます。
- 期間を決めて忘れ物ゼロを目指す取組を全校的に行い、自ら忘れ物を減らそうとする意識を高めていきます。

### ■やさしさ＝「豊かな心」育成のために

- 日常観察、教育相談、いじめアンケート等を通して、一人一人に細かく目を配り、全校職員で児童を見守っていきます。
- 青葉会の活動として「あいさつ運動」「友だちのよさを見つける活動」を行うなど、児童の自主性や自発的な取組を生かして、心のふれあいを生む活動を進めます。
- 地域の方をゲストティーチャーとした、心に響く道徳の授業づくりを進めるなど、道徳教育の充実を図っていきます。
- 毎月の生活目標について月初めに発表・説明するなどして、目標を意識して学校生活を送ることができるようになっています。